

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第30回定例会 (令和元年9月定例会)

平成30年度決算	2	一般質問(5人)	9
決算特別委員会・第29回臨時会	4	議員活動報告・編集後記	14
第30回定例会・所管事務調査	6		

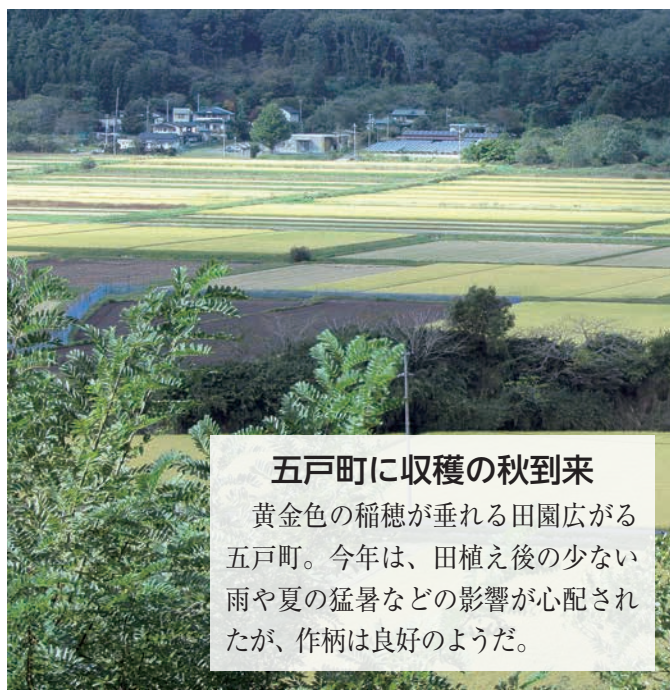
議会広報
令和元年10月
第33号



第2回青森フォトログ2019in坂のまちごのへ
配られた地図と得点の一覧をもとに、制限時間内にチェックポイントを回って写真を撮影し、より多くの得点を集めて競い合うイベント。昨年からは10月に五戸町商工会青年部が主催している。



コンバインからの稲刈りのようす



五戸町に収穫の秋到来

黄金色の稲穂が垂れる田園広がる五戸町。今年は、田植え後の少ない雨や夏の猛暑などの影響が心配されたが、作柄は良好のようだ。

平成30年度決算

<財源構成>

自主財源 22.2% (町税など)	依存財源 77.8% (地方交付税など)
--------------------------------	-----------------------------------

各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	91億5692万円	89億3391万円	2億2301万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億5774万円	4億5527万円	247万円
	国民健康保険	23億0980万円	22億5779万円	5201万円
	介護保険	24億7550万円	23億0123万円	1億7427万円
	下水道事業	3億8326万円	3億7895万円	431万円
	農業集落排水処理施設事業	1億1124万円	1億0854万円	270万円
	簡易水道事業	9249万円	8945万円	304万円
	住宅用地造成事業等	2210万円	1175万円	1035万円
	ケーブルテレビ事業	3050万円	2815万円	235万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	26億7831万円	26億7905万円	△74万円	
資本的収支	3億3640万円	4億9295万円	△1億5655万円	

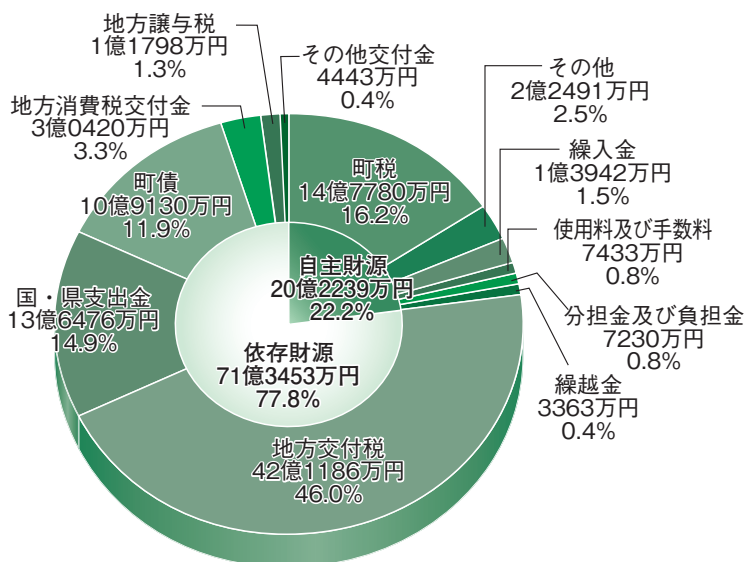
一般会計の自主財源である町税や使用料などは22.2%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が77.8%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金)と借金(町債)に頼っています。

平成30年度決算状況

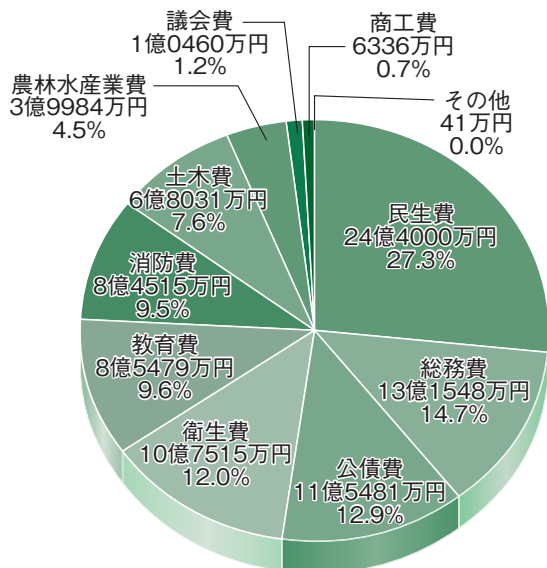
また、歳出の人件費や公債費(借金返済)などの義務的経費は、歳出全体の41.2%を占め、前年度に比べ3.3%の増額となりました。

一般会計決算

歳入



歳出



町税等の未収金の状況

区 分	29年度末	30年度末	増減額
町税*1	9398万円	8584万円	△ 814万円
放課後児童クラブ保護者負担金	2万円	5万円	3万円
給食費保護者負担金	281万円	289万円	8万円
ブドロク放牧場使用料	173万円	157万円	△ 16万円
町営住宅使用料及び共益費	124万円	238万円	114万円
屋外広告物等許可手数料	2万円	0万円	△ 2万円
土地貸付料	275万円	248万円	△ 27万円
奨学資金償還金	881万円	918万円	37万円
後期高齢者医療保険料	△ 6万円*2	93万円	99万円
国民健康保険税	1億5315万円	1億3034万円	△ 2281万円
介護保険料	435万円	436万円	1万円
下水道受益者負担金・使用料	744万円	766万円	22万円
農業集落排水分担金・使用料	260万円	261万円	1万円
簡易水道使用料	662万円	638万円	△ 24万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	104万円	84万円	△ 20万円
合 計	2億8650万円	2億5751万円	△ 2899万円

* 1 町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額

* 2 未還付額が未収金を上回っているためマイナスとなっている

※翌年度繰越分及び未還付額は除く

基金
一方、貯金である基金合計は、45億3826万円で、前年度に比べて3億7963万円増額となりました。
「貯金 町民一人当たり26万円」

町債(借金)の状況

会 計 名	30年度末
一般会計	112億7891万円
下水道事業特別会計	25億9617万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	6億7906万円
簡易水道事業特別会計	1億9447万円
五戸町病院事業会計	24億6845万円
合 計	172億1706万円
町民1人当たり	100万円

町債
町財政の借金である町債合計は、172億1706万円で、前年度に比べて3億1680万円減額となりました。
「借金町民一人当たり100万円」

基金(積立金)の状況

基金名	30年度末	基金名	30年度末
財政調整基金	19億8612万円	地域振興基金	10億0832万円
減債基金(地方債償還のための積立)	5億8938万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	306万円
土地開発基金	1億4576万円	過疎地域自立促進特別事業基金	1億5009万円
泉山教育振興基金	57万円	ふるさと納税寄付金基金	8046万円
木村秀政教育振興基金	182万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	2億8790万円
公共施設等整備基金	1億0041万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
まちづくり特別事業基金	36万円	介護給付費準備基金	9135万円
地域福祉基金	90万円	下水道整備基金	2535万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	農業集落排水事業減債基金	228万円
人材育成基金	1838万円	ケーブルテレビ事業基金	3357万円
肉用牛一貫経営支援基金	566万円	合 計	45億3826万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

未収金(滞納)総額
2億5751万円
平成30年度末の不納欠損額は5045万円で前年度に比べて2118万円多く、処分後の未収金は、2億5751万円、町税と国民健康保険税で84.0%を占めています。

不納欠損処分とは
債務者が死亡し相続人もいない場合や、今後も徴収の見込みがたない場合、その金額を消滅させること。

決算特別委員会

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：高山浩司議員、副委員長：沢田良一議員)を設置し、平成30年度の一般会計決算、特別会計決算及び病院事業会計決算について審査しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



高山浩司委員長

決算に対する 主な質疑

一般会計歳入

**ふるさと納税
寄附金基金繰入金**

問 大沢義之委員

内容は、

答 高谷総合政策課長

平成30年度のふるさと納税は、4770件で6415万3千円の寄附を受けた。寄附者が各施策に対する用途を定めており、それをふまえて町の事業に繰り入れしている。

奨学資金償還金

問 豊田孝夫委員

全国的に奨学資金の返

済が滞っている傾向にあるが五戸町の傾向は。

答 志村教育課長

景気に左右される場合が多いが、未納者に対して、電話連絡や督促状の送付、年度末には返済残高の通知を行っており、返済できない場合には、理由書の提出を依頼している。

一般会計歳出

〔総務費〕

**住宅用太陽光発電
システム設置補助金**

問 三浦俊哉委員

平成29年度より増額となっているが、交付した件数は。

答 高谷総合政策課長

平成29年度は9件、平成30年度は19件。

**運転免許証返納支援
事業バス利用料**

問 三浦俊哉委員

平成29年度よりも増額となっているのは、運転免許証の返納者が増えて

いるからなのか、または利用者が増えているからなのか。

答 服部総務課長

平成29年度は80人、平成30年度は147人が利用しているため増額となった。

あくまでも免許証を返納した人がバスを利用した分であり、利用していない人も中にはいると思われる。

**ホームページ保守
業務委託料**

問 川崎七洋委員

内容は、

答 手倉森企画財政課長

ウェブサイトで、高齢者や障がい者の方々が、情報やサービスへのアクセスをしやすいするためホームページの保守業務を委託しているもの。

〔民生費〕

**社会福祉センター
土地借上料**

問 鈴木隆也委員

土地を借り上げるため

に、毎年約160万円を支出しているが、施設の老朽化を考えれば、土地の借上料を支払うよりも、町有地などに新たな施設を建設し、社会福祉協議会が運営できる施設を作るべきでは。

答 若宮町長

現在の建物の耐用年数等を調査し、将来的には検討していかなければならないと考えている。



五戸町社会福祉センター

倉石温泉運営費

問 鈴木隆也委員

倉石温泉の入浴料は、旧倉石村民の65歳以上の高齢者に対してのみ割引が適用されている。町の税金が運営費に使われて

いるにもかかわらず不公平ではないか。

答 大久保副町長

今年度中に検討委員会等を設けて判断したい。



倉石温泉

〔農林水産費〕

**中山間地域等直接
支払制度交付金**

問 大久保和夫委員

どのような場合に交付されるのか。

答 中村農林課長

中山間地域の農地は急傾斜が多く、農業生産の条件が不利であることから、耕作放棄地の発生も多い。その防止及び多面的な機能の確保を図り、農業生産の条件を補うための交付金である。

【教育費】

海外研修 支援事業費補助金

問 三浦專治郎委員
予算執行しなかった額が多いのはなぜか。

答 志村教育課長

高校生向けの補助金で、1人あたり25万円で6人分の予算を計上した。結果的に平成30年度は1人しか利用しなかったため、利用額が多くなった。利用する人数を見通すことは難しい。

五戸小学校プール 監視員賃金

問 鈴木隆也委員

内容は。

答 志村教育課長

ひばり野公園内にある小学生用の25mプールが五戸小学校の所管となっており、管理・運営を行うためのアルバイト賃金である。他の学校プールとは違い、町内外の小学生が利用できるため計上している。

問 鈴木隆也委員

五戸小学校以外の町内の小学校における夏休み中のプール監視は、教職員と保護者が行っている。教育現場の働き方改革を進める上で適切なのか。

答 柳町教育長

明確な時期は申し上げられないが、今後学校の教職員は離れ、地元の方やボランティアが行うことになる予想される。

【公債費】

公債費

問 大沢義之委員

今後の公債費の見通しは。

答 手倉森企画財政課長

平成30年度決算における財政の健全化判断比率(1)の指標となる実質公債費比率(2)は、平成28年度から平成30年度にかけて着実に改善している。返済残高は減少すると見込まれるが、今後の新規事業などの事情の変化により変わっていく。

交付税参入率の高い財政的に有利な起債を活用していく事が今後必要だと考えている。

【住宅用地造成事業等 特別会計】

上市川団地内 環境整備業務委託料

問 鈴木隆也委員

内容は。

答 松坂建設課長

集会所の清掃作業を行ったもの。

問 鈴木隆也議員

20万円予算計上されていたにもかかわらず、約6千円のみ支出となっている。上市川団地内で草が生い茂っていたり、落ち葉が散らかったりしている箇所がある。そういった個所の環境整備に活用すべきでは。

答 松坂建設課長

団地内の草刈作業等は町職員が行っている。町職員が手に負えない部分が発生した場合に専門業者に委託している。

【ケーブルテレビ事業 特別会計】

ケーブルテレビ事業 基金積立金

問 川崎七洋委員

どういった目的の積立金なのか。

答 手倉森企画財政課長

経年劣化による放送設備の更新や整備のために積み立てている。

用語解説

(1)健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、議会に報告が義務付けられた「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標のこと。

(2)実質公債費比率

借金の返済にどれくらい支払っているかをあらわしたものの。

第29回 令和元年7月 臨時会

7月9日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 1件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	0件	0件

町長提出案件

財産の取得 1件

●第25分団消防ポンプ自動車(CDI)の購入

・(株)八戸鉄工所

2181万6千円

【仕様】

・全長 5815mm

・全幅 1880mm

・全高 2600mm

(アンテナ除く)

・乗車定員 6名

・駆動 四輪駆動

・ポンプ性能

A2級

・水槽容量

水槽900L

新車両イメージ



審議の結果

全員賛成で可決

第30回 令和元年9月 定例会

9月5日から11日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 24件			
原案可決	同意	承認	認定
20件	2件	0件	2件

町長提出案件

報告 3件

- ①平成30年度青森県新産業都市建設事業団の決算について
- ②平成30年度決算に基づく財政の健全化判断比率について
- ③平成30年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

協議 1件

- ①町道の路線の変更について

【内容】

・町道南手倉橋線の南手倉橋が老朽化により使用不能となったため、当該橋梁を廃止し、路線の起点及び区域の変更をするもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の制定 2件

- ①五戸町会計年度任用職員への給与及び費用弁償に関する条例

【内容】

・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴うもの

- ②五戸町森林環境譲与税基金条例

【内容】

・森林整備及びその促進に関する施策の財源として森林環境譲与税が創設されたことに伴い、新たに基金を設置するもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の全部改正 1件

- ①五戸町印鑑条例

【内容】

・住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴うもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 5件

- ①五戸町人事行政の運営

等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例

【内容】

・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴うもの

- ②五戸町行政財産目的外使用料徴収条例の一部を改正する条例

を改正する条例

- ③五戸町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

を改正する条例

- ④五戸町法定外公共物管理の条例

を改正する条例

- ⑤五戸町町税条例等の一部を改正する条例

を改正する条例

- ②から④は、消費税及び地方消費税の税率引上げが令和元年10月1日から施行されることに伴うもの

- ⑤五戸町町税条例等の一部を改正する条例

を改正する条例

- 地方税法等の一部改正に伴うもの

- 地方税法等の一部改正に伴うもの

- 地方税法等の一部改正に伴うもの

- 地方税法等の一部改正に伴うもの

- 地方税法等の一部改正に伴うもの

- 地方税法等の一部改正に伴うもの

補正予算 7件

①一般会計補正予算(第3号)

補正額(増額)

- 3億5237万1千円
- 予算総額(補正後) 91億8640万4千円

【主な内容】

- ・町税過誤納還付金 703万4千円
- ・国保会計繰出金 559万3千円
- ・子ども・子育て支援システム改修業務委託料 771万4千円
- ・子育てのための施設等利用給付費 486万円
- ・子どものための教育・保育給付費 △1440万円
- ・病院事業会計負担金 2億2773万4千円
- ・森林環境譲与税基金積立金 947万5千円
- ・道路環境整備業務委託料 1800万円
- ・町道維持・舗装修繕工事費

3150万円
下水道事業特別会計繰出金 301万6千円
消防屯所用備品 388万1千円
これらの財源は、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、県補助金及び繰入金等を充当。

②後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額(増額)

- 40万8千円
- 予算総額(補正後) 4億4330万8千円

【主な内容】

- ・職員手当等を追加するもので、繰入金を充当

③国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額(減額)

- △603万7千円
- 予算総額(補正後) 22億4660万6千円

【主な内容】

- ・市町村事務処理標準システム構築業務委託料 2544万6千円
- ・保険給付費等交付金償

還金

658万7千円

・直営診療施設勘定繰入金
△4000万円

④介護保険特別会計補正予算(第2号)

・補正額(増額) 335万5千円

・予算総額(補正後) 24億1477万5千円

【主な内容】

・一般職給、職員手当等
を追加するもので、繰入金等を充当

⑤下水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 341万6千円

・予算総額(補正後) 3億7187万9千円

【主な内容】

・汚水処理施設整備計画
書作成業務委託料
265万1千円
等を追加するもので、
繰入金等を充当

⑥簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 67万円

67万円

・予算総額(補正後) 1億1050万2千円

【主な内容】

・給水車運搬手数料
67万円
を追加するもので、繰入金を充当

⑦病院事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入
1億9490万5千円
増の26億8105万
3千円

【主な内容】

・収益的支出
1230万7千円増
の28億8021万6千
円

【主な内容】

・一般会計からの繰入金
等

・遠隔読影システム利用
手数料
29万7千円

・健診システム結果票新
規様式作成委託料
6万6千円

・平成30年度に購入した
医療機器に係る減価償
却費

・長期前払消費税額償却

・過年度損益修正損
資本的収入
3361万2千円を
追加、3億6267万
7千円

【主な内容】

・一般会計からの繰入金
等

・資本的支出
1589万円増の5
億7738万1千円

【主な内容】

・鼻咽ファイバースコー
プ、遠隔読影システム
等の病院備品費

・医師、薬剤師修学資金
貸付金

議案に対する 主な質疑

一般会計補正予算

【総務費】

五戸町ものづくり 事業費補助金

問 鈴木隆也議員

増額補正の理由は。

答 高谷総合政策課長

各企業から申請を受付

したところ、3社からの
申し込みがあったため、
不足分を増額補正するも
の。

問 鈴木隆也議員

どのような事業に使用
したいという申請があつた
のか。

答 高谷総合政策課長

常温のレトルト食品を
扱える商品を製造できる
機械を導入したい、高度
な部品を作り新たな製品
の開発をしたい、長芋を
粉末にして菓子を製造し
たいというもの。

問 鈴木隆也議員

審査の方法は。

答 高谷総合政策課長

町で審査検討委員会を
立ち上げ点数制を導入し
ている。

問 尾形裕之議員

審査方法の過程を詳しく
説明願いたい。

答 高谷総合政策課長

まず課内で第1次審査
を行い、その後、町長・
副町長・総務課長・企画
財政課長・総合政策課長
を交えて協議し決定して

いる。この審査方法は今
年度から導入している。

【消防費】

水防倉庫修繕工事費

問 三浦俊哉議員

増額補正の理由は。ま
た、水防倉庫には何が保
管されているのか。

答 服部総務課長

八景橋付近にある水防
倉庫の屋根と外壁が壊
れ、その修理に充てる
ため増額補正するもの。
水防倉庫には、土のう
袋や杭など災害が起きた
場合に必要となる備品を
保管している。

【教育費】

管内小学校施設 改修工事費

問 尾形裕之議員

どこの小学校の工事費
なのか。

答 志村教育課長

倉石小学校の体育館の
照明とトイレの冬季期間
凍結防止のための修繕。

下水道事業特別 会計補正予算

汚水処理施設整備計画書 作成業務委託料

問 鈴木隆也議員

増額補正の理由は。
答 松坂建設課長

公共下水道の区域を縮
小し、今年度末で休止す
る計画を進めている。

その計画に沿って汚水
処理施設整備計画書を作
成しなければならな
いため、専門業者に委託する
もの。

審議の結果

審議の結果
全員賛成で可決

認定 2件

①平成30年度五戸町一般
会計・特別会計歳入歳
出決算

②平成30年度五戸町病院
事業会計決算

審議の結果

審議の結果
全員賛成で認定

町長追加提出案件

人事 2件

1 教育委員の任命

◎柿本 孝志氏 (56歳)
大字倉石中市字中市



主な職歴等

日本郵便株式会社

下田郵便局長

五戸町スポーツ少年団

本部長

五戸町バスケットボール協会

副会長

2 人権擁護委員の推薦

◎中谷 正幸氏 (32歳)
大字倉石中市字寺後



源福寺

住職

社会福祉法人未萌会

理事

意見書 2件

1 国連各委員会の「沖縄県民を先住民族と認めて保護すべき」との勧告の撤回を求める意見書の提出について

・「沖縄の人々は先住民族」という国連各委員会の誤った認識を正し、勧告の撤回を要請するもの

2 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書の提出について

・普天間飛行場の一日も早い危険性除去のため、辺野古先キャンブ・シユワープへの移設・統合の推進を要請するもの

陳情書

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

継続審査

2 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採 択 (願意妥当・意見書の伴う議会提出案件)

3 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採 択 (願意妥当・意見書の伴う議会提出案件)

審議の結果

全員賛成で採択

所管事務調査

総務常任委員会

8月29日実施

調査内容

○教育環境の現状について
教育課及び各学校の担当者から現在の教育環境の状況、施設・設備に関する要望等、説明を受けながら現地調査を行った。

【五戸小学校からの要望】
ことばの教室へのエアコン設置、無線LANの設置等。

【倉石小学校からの要望】
側溝・屋根・校庭土留めの修繕・整備、体育館トイレの凍結防止用ヒーターの設置、体育館と多目的ホールの照明用昇降機の修繕等。

【倉石中学校からの要望】
体育館の設備改修、音楽室カーペットの張り替え、正面玄関サッシ交換、側溝改修等。



学校側からの説明のようす



倉石小学校体育館視察

総務常任委員会 (5人)

総務、税務、教育及び選挙に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属しない事務を所管する。

- 委員長 三浦專治郎
- 委員長 沢田 良一
- 委員 大沢 義之
- 委員 尾形 裕之
- 委員 柏田 雅俊

9月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。

一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。

◆若宮町長が考える人口減少対策は

町長 各世代に対して対策を

考えていきたい



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

質問①

少子高齢化にともなう人口減少問題について、どのような対策を考えているのか。

答 若宮町長

結婚・出産・子育て支援及び地場産業支援や企業誘致などの地域経済振興策が重要であると認識している。

また、健康寿命を延ばすため、町民の方々には、健康診断を1年に1度は受診していただきたい。まちづくりに関しては、効率的な行政運営を持続させるため、さらなる自治体内の行政区による地域連携やコンパクトシティ等の取り組みを今後検討していく必要があると考えている。

これらのことをふまえ、今後策定される次期総合戦略では、人口減少問題対策に重点を置き、町民が健康で楽しく安心して暮らせるまちづくりに誠心誠意努力していきたい。

◆三浦前町長が検討するとして

いたことの進捗状況は

町長 引き続き調査している

質問①

以前一般質問した、次の4つのことについて、三浦前町長は検討中とのことだったが、若宮新町長の考えは。

答 若宮町長

・地消地産条例(乾杯条例も含む)・・・

地元産のモノが地元で回って、お金が地域内で循環する仕組みを作ることは重要である。直ちに条例を制定することは難しいが、乾杯条例は先行的に検討したい。

・手話言語条例・・・
現在、県内外の市町村の手話言語条例について調査・研究中である。

行政との直接的な協力を仰ぐ協力機関や団体等を模索している。

・合葬墓・・・
少子高齢化の進行等により、先祖の墓を個人で管理することが困難にな

ることが予想される。

その受け皿として、五戸町においても公営の合葬墓は必要であると考え、設置場所の選定、建設費及び維持管理費の財源確保などクリアするべき課題が多い。

・ふるさと教育、地域学のツール作成・・・
ふるさと教育や地域学は、将来若者の県外流出減少や定住などをもたらすことへの期待が込められた重要な学習であると考えている。

活用できるツールの1つとして、昨年6月に開館したごの郷土館を最大限活用したい。

その他のツールは、図書館など各施設の活用や、町のPR動画など総合戦略関連の資料も今後増えていくことが予想されるので、それらのツールも活用していきたい。

◆以前提案した

五戸のおんこちゃんの

スマートフォンでの活用は

町長 未だ開発していない

質問①

五戸のおんこちゃんをポケモンGOのように、スマートフォンでゲットできるような仕掛けを作ってはどうかと以前提案したが、その後どうなったか。

答 若宮町長

スマートフォンを活用する五戸のおんこちゃんの開発は未だしていない。SNSの活用は多方面への拡散が期待されることから、官民一体となって知恵を出していきたい。

◆まちの木が

おんこになった理由は

質問①

まちの木がおんこになったのはなぜか。

答 若宮町長

詳しい理由は不明だが、町村合併20周年記念の昭和50年7月1日に、一般から応募のあった、おんこ・いちよう・ひば・きりの4つの中から公募選考委員会で決定されている。



町の木「おんこ(いちい)」



©東京ハイジ/五戸町



とよ た 孝 夫 議員
豊田 孝夫 議員

◆農産物における鳥獣被害の対策は

町長 町が作成した被害防止計画に基づく取り組みに対しての支援事業がある

質問①
熊の被害を含めた農産物の被害届の件数は。

答 若宮町長

今年度は現在のところ被害届の報告はない。昨年度は梨3件、りんご1件、養蜂2件の合計6件の被害届があった。

質問②

被害届から推定される被害額は。

答 若宮町長

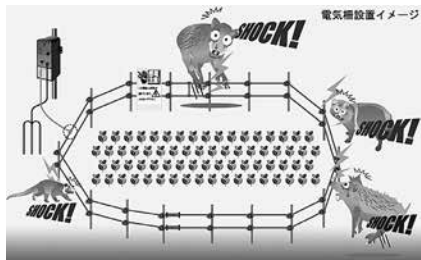
昨年度の6件の被害届における被害額は約60万円である。

質問③

どのような鳥獣被害対策を行っているのか。

答 若宮町長

五戸町鳥獣被害対策実施隊によるカラスの駆除と箱罠による熊の捕獲活動を行っている。



質問④

ペットとして飼われていた獣類が野生化し、繁殖して農産物を荒らす被害が見受けられる。未然に防ぐ方法は。

答 若宮町長

農地の周りを電気柵やネットで囲うことが効果的であると考えている。

答 中村農林課長

電気柵等の侵入防止柵の対策費用の補助として、国が2分の1の費用を補助する支援事業がある。ただし、3戸以上の農家が共同で行うことが必要で、農地が隣接していないくても申請できる。

◆自治会に対して除草剤散布の補助をしては

町長 様々なことを考慮し慎重に検討したい

質問①

自治会に対する補助制度はいくつあるのか。

答 若宮町長

施設整備費補助、防犯灯のLED化補助及び防犯灯・街路灯の電気料金補助の3種類ある。

質問②

作業負担が重い除草作業

答 若宮町長

作業負担軽減の1つの方法であると思うが、町道での除草剤の散布は、雑草以外の植物や動物、歩行者に対する影響を考慮し、慎重に検討せざるを得ない。

質問③

市街地や郊外など町道にも様々な。個別に対応できないか。

答 松坂建設課長

場所によって個別に検討していく必要があると考えているので、今後の課題としたい。

◆県道233号線浅水南部線の道路拡幅を

町長 歩行者の安全のため継続して県に要望する

質問①

県道233号浅水南部線について、住民から近くにある砂採取場を往來するダンプカーが非常に多く、歩行して危険に感じているとの意見があった。

答 若宮町長

県の担当者に確認したところ、以前道路改良事業を実施するため、用地の了解が得られた箇所から事業に着手したが、一部の用地の取得が難航したことにより事業が中止になったとのことである。町としては、再度道路改良整備を実施するよう

答 松坂建設課長

この路線については、本年9月に町から県に対して道路拡幅の要望を出している。今後も県と相談しながら、改良を進めよう要望していきたい。

県道は県の所管であるが、町から何らかのアクションを起こすべきでは。

一般質問



たかやま こうじ
高山 浩司 議員

◆第二期住宅用地造成と企業支援に 対する町長の考えは

町長 町有地や奨励金を活用

答 大久保副町長

上市川住宅団地は、ほとんどが売却され、現在のところ残り1区画のみとなっているが、団地内に空き地があり、5〜6区画の整備が可能である。まきば温泉の近くにも

町有地があり、まずは住宅地に近い場所から整備を検討したい。

質問②

企業誘致は、地域にどの辺りまでを対象にし、どのような形で誘致しようと考えているのか。

答 若宮町長

事業内容や関連企業の立地状況等により、企業が立地を希望する地域が異なるため、重点的に企業誘致を行う地域については現在のところ考えていない。

◆沃川郡との姉妹都市関係の解消を検討すべきでは

町長 国家間の問題を地方に波及させるべきではない

質問①

本年8月に行われる予定であった沃川郡との交流事業が、沃川郡側からの一方的な申し出によって中止となったが、その具体的な理由説明はあったのか。

質問②

今回の中止に関して、町長の考えは。

答 若宮町長

非常に残念に思っている。

沃川郡においても、苦渋の決断であったと思う。

質問③

沃川郡との姉妹都市関係について、解消も含めて検討するべきでは。

答 若宮町長

現在の日韓関係は悪化の一途をたどっているが、沃川郡との関係は良好である。

引き続き姉妹都市交流を継続していきたい。

答 若宮町長

7月29日に沃川郡側から韓国国内の世論に配慮し、交流事業の中止を決定したとの報告があった。

◆教材として映画「めぐみ」を活用しては

教育長 利用促進を図りたい

質問①

国から各教育機関に対し、北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品の活用促進について依頼が出されているが、拉致被害者 横田めぐみさん

の映画「めぐみ」を教材として活用しては。

答 柳町教育長

町内の3中学校へ周知し、利用促進を図ってきたい。



映画『めぐみー引き裂かれた家族の30年』



かしわだ ただのり
柏田 匡智 議員

◆倉石牛肉まつりが産業まつりの一部として開催される経緯は

町長 農産物の収穫期や生産者の意見をふまえて内容を見直した

質問①

開催30回を数える倉石牛肉まつりは、地元畜産物ブランド化のために、生産者・販売機関・自治体が協力し合ってきた歴史がある。

昨年年度までの開催内容から産業まつりの一部とすることとなった最初の発案と目的は。

答 若宮町長

昨年11月上旬に、産業と文化まつりが町中心部で開催された。

その後の実行委員会の会議で、委員の中から定期的に収穫期の農産物が少なく、産業まつりと文化まつりを切り離し、産業まつりをもう少し早い時期に開催してはどうかという意見があった。

このような意見から、町ではこれまでの倉石牛肉まつりの内容を見直し、産業まつりと合わせて同時開催できないか協議検討した。

質問②

開催内容を変更するに至った話し合いの経緯、それに対する生産者の意見は。

答 若宮町長

生産者から意見を聴取したところ、

「倉石牛肉まつりの名称は残し、規模が縮小されても今まで通りのスタイルで実施してほしい。」

「これらが実施できないのであれば、1日だけでも小渡平公園で実施してほしい。」

との意見が出された。

この意見に基づいて協議した結果、倉石牛肉まつりの名称は残し、出店者を募り販売する方向で検討することとした。

現在、五戸町産業まつり実行委員会を組織し、肉部会において、倉石牛のバーベキュー等を検討中である。

質問③

今後の町政における「農業のまち」としての五戸ブランド確立を進める上での役割は。

答 若宮町長

倉石牛・馬肉・青森シャモロックを五戸町の3大肉とし、消費拡大に向けて消費者にPRしていきたい。



青森シャモロック



馬肉



倉石牛

※写真はイメージです。

◆児童クラブの施設に冷房設備設置を

町長 前向きに検討する

質問①

近年の猛暑により町内の小中学校に冷房設備が設置された。

夏休み期間中も利用される児童クラブにおいて、熱中症対策の現状は。

答 若宮町長

今現在、当町の放課後児童クラブは、五戸児童クラブ・切谷内児童クラブ・ここにこクラブ・倉石児童クラブの4カ所あり、合計175名の児童が利用している。

いずれの施設も冷房設備は未設置である。

熱中症対策として、扇風機の使用、定期的な児童の体調確認、支援員に対して、熱中症の理解及び対処法の研修を実施している。

利用児童に対しては、こまめな水分補給と飲料

が不足した場合に備え、

スポーツドリンクを各クラブに常備している。

今年の夏は、夏休み期間中に猛暑日が続いたため、緊急に冷房設備のある教室及び部屋を借用し運営した。

質問②

今後冷房設備を設置する計画は。

答 若宮町長

今年度冷房設備設置を検討したが、小中学校を最優先したため先送りとなった。

利用児童の健康管理及び事故防止対策や、近年の気象状況から、冷房設備の設置は必要であると考えている。

一般質問



かわむら ひろあき
川村 浩昭 議員

◆公共施設や通学路に防犯カメラの設置を

町長 関係機関・団体と協議したい

質問①

公共施設や通学路に防犯カメラを設置しているのか。

答若宮町長

防犯カメラは、機種にもよるが設置費用が1台あたり約50万円、維持費に数万円が必要となる。近年、事件・事故の解決として、防犯カメラに残っている映像が有効な判断の1つとなっている。設置について、関係機関・団体と協議しながら検討していきたい。

◆五戸町が大好きな理由は

質問①

五戸町が大好きな町長に伺う。その理由は。

答若宮町長

大きく2つの理由があり、生まれ育った町であることと、町の景色が美しいことが挙げられる。空気、水及び土のにおい、ここで生活している人情味のある方々とのご縁やお付き合いなど、総じてまとめれば、五戸町という空間そのものが大好きである。

最近の犯罪は、恨み辛みといった理由が無く、突然犯罪が起こる。このような中、多発している犯罪の検挙率が、防犯カメラによって上昇している。

質問②

五戸町を住みよい町にするのであれば、まずは犯罪の無い安心なまちづくりが必要である。

早急に公共施設等に設置するべきではないか。



青森県立五戸高等学校

◆町有地の空き地における維持管理の状況は

町長 委託又は町で管理している

質問①

五戸町所有の空き地において、雑草が生い茂っており、通行が不便で虫が湧いて困るという住民の声がある。

答若宮町長

国及び県が管理している土地には空き地が無い。町が管理している町有地は、山林・道路用地・宅地があり、空き施設が12カ所ある。

答若宮町長

空き施設12カ所のうち、地域の消防団や利用団体に管理を委託している場所は6カ所ある。残り6カ所については、町職員で年に1〜2回の草刈と生木の伐採を行い、総務課で管理している。

質問②

町が管理している空き施設では、どのような対処をしているのか。

◆五戸高校廃校後の中学生と高校生の未来は

町長 五戸町への郷土愛を育てていく

質問①

私は、青森県の決定であっても、五戸高校廃校を諦めきれないでいる。

町長は、中学生及び高校生のこれからの未来の行方、また、五戸高校の校舎の活用をどのよう

答若宮町長

中学生や高校生に限らず、五戸町のすべての供たちが、どの地で学ぼうとも決して故郷五戸町を忘れることなく、どんな形であれ、いつかはこの町で暮らしたい、また帰って来たいという想いを感じさせながら育てていくことが必要である。また、五戸高校の校舎・土地等を活用する件に関しては、今後決定される青森県の公共建築物利活用の方針決定を見据え、総合的に勘案しながら判断したい。

第25回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

令和元年7月9日、田子町において八戸連携中枢都市圏形成議員促進連盟主催による勉強会が開催され議員15名が参加した。

講演 「今後の広域連携のあり方について」

講師 総務省自治行政局市町村課

課長補佐 光永 祐子 氏

* この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。



県下町村議会議員研修

令和元年7月10日、青森市(リンクモア平安閣市民ホール)において県下町村議会議員研修が開催され議員11名が参加した。

講演

「今後の政局・政治展望」

講師

政治アナリスト 伊藤 惇夫 氏



編集後記

「五戸町が大好きな若宮です」おなじみのフリーズで始まった五戸町議会第30回定例会。新町長となった若宮町長にとって初めての定例会でした。特に一般質問に対処のようにならざるが興味津々でした。議員はもとより、町民の関心もそこに集中しているのかなと思います。議会の模様は五戸ちゃんねるで放映されるので是非視聴されることをお勧めします。

時は秋、実りの秋を迎え農家の方々は忙しさも有りますが、一年で一番楽しみの時ではないでしょうか。米や果樹の収穫にこの一年間の苦労が報われる時です。幸いにも自然災害に見舞われることもなく過ぎ去りそうですが、まだまだ安心は早いのかな。平穩無事でありまことを祈ります。

委員長 豊田 孝夫

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月5日開会予定です。詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和2年1月発行予定です。

発行責任者 議長 大沢 博
 委員 尾形 裕之
 委員 高尾 裕之
 委員 鈴木 浩司
 委員 大久保 和夫
 委員 鈴木 隆也
 副委員長 柏田 匡智
 委員長 川崎 七洋
 委員長 豊田 孝夫

広報常任委員会